

令和2年度文部科学省
「幼稚園の人材確保支援事業」委託事業

幼稚園の人材確保支援事業 調査研究事業報告

令和3年3月

公益財団法人広島県私立幼稚園連盟



《 目 次 》

令和2年度幼稚園の人材確保支援事業 事業報告

I	調査研究テーマ	1
II	調査研究課題	1
III	調査研究の要旨	1
1	本事業の目的	1
2	各調査の研究課題	1
3	全体のまとめ	2
IV	調査研究の目的及び内容並びに達成状況等	2
1	目指す姿	2
2	事業の目的	2
3	目標	2
4	事業内容	2
5	目標に対する達成状況	3
6	各主体の連携促進に係る取組	4
実施事業		
I	園における労務環境改善研修会及び相談会の開催	6
II	私立幼稚園・認定こども園の魅力発信事業	9
III	無料職業紹介事業の実施	14
IV	令和2年度新採用教員研修会参加者への 人材確保に向けたアンケートの実施	22
	「令和2年度幼稚園の人材確保支援事業」調査・研究実行委員会	24

令和2年度幼稚園の人材確保支援事業 事業報告

I 調査研究テーマ

- ア 離職防止・定着促進（働き方改革）
- イ 離職者の再就職促進
- ウ 新規採用の促進

II 調査研究課題

平成29年度から3年間、文部科学省の委託事業「幼稚園の人材確保支援事業」の採択を受け、マッチング体制の構築、幼稚園等の魅力を発信するイベント（幼稚園・認定こども園ナビゲーション）をはじめとする「新規採用の促進事業」、無料職業紹介事業等の「離職者の再就職促進」、幼稚園における働き方改革や園運営の在り方研修会を通じた「離職防止・定着促進」に取り組んできた。人材確保の成果は、これらの一連の事業を厳選して継続していくことが何よりも重要であり、そのためには、広島県及び広島県教育委員会との連携が必要不可欠であると考え。

このため、令和2年度は、広島県及び広島県教育委員会とで設立した「幼稚園の人材確保支援事業推進協議会」において事業展開を行い、幼稚園等の人材確保に寄与するとともに、教育・保育の質の向上に努める。

特に、幼稚園の処遇改善を推進し、教職員の離職防止・定着促進を図るためには、労務環境改善が重要と考え、幼稚園の労務環境を整える事業を実施することとする。

III 調査研究の要旨

1 本事業の目的

令和2年度は、新卒者・再就職希望者に対しては、YNナビや無料職業紹介事業を通じて、きめ細かな就職支援を行い、幼稚園等の人材確保に資する。また、園における労務環境の改善に向けた取組を行うことにより、教職員の離職防止・定着促進を図る。

2 各調査の研究課題

(1) 幼稚園教諭の離職防止・定着促進に係る取組

労務環境改善研修会・相談会を通じて、園の労務環境の改善に向けた取組に繋げることができたかどうかについて研究した。

(2) 新規採用の促進・離職者の再就職促進

私立幼稚園の魅力発信事業として、YNナビにおいて、園情報の提供、就職アドバイザーによる支援等を実施し、効果的な方策について研究する。また、無料職業紹介事業における求人・求職システムの改善や就職アドバイザーによる相談事業等を実施し、その効果を研究した。

3 全体のまとめ

各園において労務環境を改善し、働きやすい職場環境を整備することが、職員の離職防止、定着促進につながる重要な要素の一つであることから、設置者・園長を対象とした研修会、相談会を開催し、各園が抱える労務上の課題を把握した。今後も引き続き、最新情報の提供に努めることが必要と考える。新規採用促進・離職者の再就職促進に向けた取組は、それぞれの立場に合ったきめ細かな支援が必要である。コロナ禍で実施できなかった事業もあるが、「わーくけんよう」の学生の登録者の増加をみると、養成校の学生等へ事業が浸透しつつあることがうかがえる。今後も、これまでの事業を厳選して継続するとともに、新たな課題にも対応しつつより効果のある事業を検討していきたい。

IV 調査研究の目的及び内容並びに達成状況等

1 本事業の目的

(1) 目指す姿

必要な教職員が幼稚園等で確保され、人材の定着により経験が深まることで、より質の高い教育・保育サービスが提供できている状況になるよう努める。

(2) 事業の目的

令和2年度は、新卒者・再就職希望者に対しては、YNナビや無料職業紹介事業を通じて、きめ細かな就職支援を行うこととする。

また、園における労務環境の改善に向けた取組を行うことにより、教職員の離職防止・定着促進を図る。

2 目標

- (1) 広島県が実施する処遇改善のための補助事業への応募を今年度より増加させる。
- (2) 県内の幼稚園等に勤務する教職員の平均勤続年数を前年度より延伸させる。
- (3) 「わーくけんよう」による求職者の登録数及び紹介件数を前年度より増加させる。
- (4) 会場において、ブースを訪問しなかった者の数を減少させる。

3 事業内容

実施した事業ごとに目的、事業内容、効果、課題、今後の取組をまとめた。

4 目標に対する達成状況

(1) 広島県が実施する処遇改善のための補助事業への応募を今年度より増加させる。

私学助成園は認定こども園や施設型給付園に移行して減少していることから、実数としては減少しているが、割合は増となっている。

(広島県からの聞き取りによる数値)

年 度	実施割合
令和元年度	45.4%
令和2年度	47.3%

(2) 県内の幼稚園等に勤務する教職員の平均勤続年数を前年度より延伸させる。

大幅に延伸とはなっていないが、現状は維持できている。

平均勤続年数	平均勤続年数
平成31年3月末	7.8年
令和2年3月末	7.8年
令和3年2月末	7.9年

(3) 「わーくけんよう」による求職者の登録数及び紹介件数を前年度より増加させる。

「新卒採用求人情報」提供ページ等の新たな事業を実施したこと、広報の成果等により倍増した。

年 度	求職者登録数	紹介件数
令和元年度	207	16
令和2年度 (R3年1月末現在)	397	58

(4) 会場において、ブースを訪問しなかった者の数を減少させる。

未実施

【総括】

目標の達成に向けて、今後も引き続き努力する。

5 各主体の連携促進に係る取組

今年度は、「幼稚園人材確保支援推進協議会」を広島県及び広島県教育委員会の3者で立ち上げ、連携しながら事業を実施することとした。

平成29年度に設置された広島県教育委員会の「乳幼児教育支援センター」では、県内すべての乳幼児に対する支援を打ち出されたことから、「私立」とも連携して、という考え方が生まれた。これにより、審議会への委員就任をはじめ、私立幼稚園教員の県教育委員会への派遣、公立小学校教員の私立幼稚園への派遣、県教育委員会幼児教育アドバイザーへの私立幼稚園園長等の就任など、様々な事業を連携するに至っている。

今回の事業も、目指す姿が一致していることから、スムーズに事業展開ができることを期待していたところであるが、コロナ禍という状況で思うように連携を図ることができなかった。

事業の実施に当たっては、文書、メール、電話での協議となった。

しかしながら、行政は協力的であり、今後も連携を図りながら事業を進めていくことは必要と考える。今後もしっかりと連携しながら幼稚園の人材確保について支援を行っていききたい。

実 施 事 業

I 園における労務環境改善研修会及び相談会の開催

1 目的

当連盟では、平成30年度は「働き方改革研究会」を開催し、この研究会で得られた成果の中から、令和元年度は、園の雰囲気・人間関係に特化した「園運営の在り方研修会」を開催した。この2年間で教職員の意識改革を図り、働きやすい職場環境づくりに向けた取組を進めてきたが、園運営においては、規程等の整備も重要な要素と考えており、令和2年度は、各園における労務環境改善のための研修会及び個別相談会を開催することにより、県内の私立幼稚園・認定こども園での離職防止・定着促進を図る。

2 事業内容

(1) 弁護士による労務環境改善研修会の開催

ア 開催概要

各園における労務環境を改善し、教職員の離職防止・定着促進を図るため、就業規則の見直しや給料表の作成などについて学ぶための研修会を県内5地域（広島市、呉市、福山市、三原市・尾道市、東広島市）で開催した。

この研修は、コロナ禍での開催となったことから、ソーシャルディスタンスを保つことなど、必要な措置を講じての開催となった。

また、それでも不安で参加は難しいが研修会には参加したいとのニーズに応え、ライブ配信を2会場（広島会場、呉会場）で行った。

イ 講師

講師は、広島県職員として学事課に勤務していた経験（幼稚園業界について精通）を持っており、その後弁護士資格を取得し、弁護士事務所を開業した菊永将浩弁護士に依頼した。

社会保険労務士に関しても、幼稚園業界について理解している佐々木 亮特定社会保険労務士に依頼し、講演時の質問にも対応していただいた。

（講演会、相談会）

弁護士法人井上・菊永法律事務所 代表弁護士 菊永 将浩 先生

（講演会質疑応答対応、相談会）

クラール社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士 佐々木 亮 先生

（ 研 修 の 様 子 ）





(2) 弁護士、社会保険労務士による労働環境改善相談会の開催

ア 実施概要

研修会終了後に、個々の園に対応した就業規則の見直しや給料表の作成等について、相談会を開催した。また、希望する園には、講師が出向いて相談を行った。

イ 相談実績

- 研修会終了後
 - 5会場 17人の相談
- 園への訪問相談
 - 3園に特定社会保険労務士が訪問し相談



3 事業実施状況及び効果

(1) 研修会の状況

会場	開催日時	場所	参加人員 (人)
広島	R2年8月24日(月)	TKPガーデンシティPREM IUM広島駅北口	14
ライブ配信	13時30分～15時		23
福山	R2年9月23日(水)	まなびの館ローズコム	21
呉	R2年12月17日(木)	クレイトンベイホテル	10
ライブ配信	16時～17時30分		20
三原・尾道	R2年9月15日(火)	三原シティホテル	11
東広島	R2年9月8日(火)	東広島芸術文化ホール くらら	8

- コロナ禍という状況の中で、ソーシャルディスタンス等の対策を行為ながらの開催となった。
- 会場を5つの地区に分けたことで、講師に気軽に質問できる雰囲気があった。
- また、会場に来ることが心配な者に対して、当連盟として初めてライブ配信を行った。

(2) 相談会等の状況

ア 相談会の状況

会 場	開催日時	相談者数 (人)
広 島	R 2年8月24日 (月) 研修会終了後	4人
福 山	R 2年9月23日 (水) 研修会終了後	4人
呉	R 2年12月17日 (木) 研修会終了後	2人
三原・尾道	R 2年9月15日 (火) 研修会終了後	4人
東広島	R 2年9月8日 (火) 研修会終了後	3人

イ 園での相談

日 時	園所在地	相談員
R 2年9月8日 (火)	廿日市市	佐々木亮 特定社会保険労務士
R 2年10月30日 (金)	安芸高田市	佐々木亮 特定社会保険労務士
R 2年11月26日 (木)	熊野町	佐々木亮 特定社会保険労務士

(3) アンケート調査の実施

別紙のとおり

アンケート結果により、満足度は高い評価を得た。

(4) 研修会及び相談会実施報告

別紙のとおり

4 課 題

研修会で学んだことを実際に園で生かしていただきたいと思う。法律等は、年々改正されていることから、各園はアンテナを常にはり、新しい情報を収集する必要がある。その内容を連盟や行政機関はタイムリーに園に情報提供をする必要がある。

園において、各種規則等の改正を適宜行うことができるよう、支援していく必要がある。

5 今後の取組

法改正等の情報を収集し、必要に応じて研修会等で情報提供していくこととする。

Ⅱ 私立幼稚園・認定こども園の魅力発信事業

1 目的

平成29年度から3年間、文部科学省の受託事業により実施してきた私立幼稚園・認定こども園の魅力発信事業を、令和2年度は、広島県・広島県教育委員会等との共催により引き続き実施するとともに、養成校との意見交換会を実施し、幼稚園等の人材確保を支援する。

2 事業内容

(1) 幼稚園・認定こども園ナビゲーションの開催

広島県等が実施する「保育士ナビ」の会場に隣接する会場での実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

(隣接会場で同日開催予定であった保育士ナビも中止となっている。)

(2) 養成校でのYNナビの開催

令和2年度は、養成校に出向き、小規模のYNナビを開催し、同校出身の教諭等が、幼稚園の魅力発信できる場を設ける事業を計画していたが、この事業も、コロナ禍ということで、養成校の学生もオンライン授業が中心となっており、養成校への部外者の出入りも禁じられているところが多いことなどから、この事業も中止とした。

(3) 園長による養成校での講演

園長等が養成校に出向き、幼稚園の魅力発信に向けた講演等を行うことができるよう準備をしていたが、この事業も養成校からの希望がなかったことから、実施ができなかった。

(4) 養成校との意見交換会の開催

令和2年度は、広島県学事課、広島県乳幼児教育支援センターと養成校の更なる連携を深め、人材確保及び質の向上に資するため、関係者が一堂に会した採用情報、人材育成等について、県西部と東部の2か所で意見交換会を行った。年度当初の開催を計画していたが、コロナ禍ということもあり、この時期での開催は見送った。

しかし、YNナビの中止ということもあり、養成校との接点がなくなることは避ける必要があったため、コロナ感染症の感染状況が落ち着いていた10月に開催した。

会場を2か所に分け、ソーシャルディスタンスを保った中での開催で、例年とほぼ同じ先生方の参加があった。

案内送付先 県内及び近隣県の養成校27校



広島会場 36人参加



福山会場 20人参加

(5) 私立幼稚園教諭の魅力発信のためのPR用DVDの作成

私立幼稚園で働く教諭の魅力を発信するためのDVDを作成し、養成校等へ配布した。

また、養成校の学生や再就職者に、私立幼稚園で働くイメージを持ってもらうため、養成校での授業等における活用と、学生がいつでも見ることができるよう、「わーくけんよう」のサイト上で公開した。



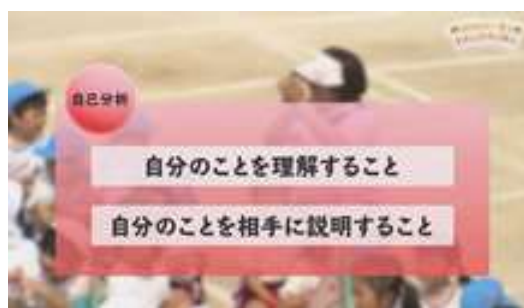
【タイトル】

初めの一步をわたしたちと共に

～魅力いっぱいの私立幼稚園・認定こども園ではたらこう～

DVD 200枚作成

(6つのチャプター)



3 事業実施による成果及び今後の課題等

(1) 幼稚園・認定こども園ナビゲーションの開催

ア 事業実施による成果

- コロナ禍で、感染拡大防止のため、中止せざるを得なかった。
コロナ禍でも開催できる方法として、学生等にオンラインで園の魅力を発信できる方法があるが、養成校がそれを望んでいるのか、学生が参加するのか、見極めが必要なことから、養成校に対してアンケート調査を実施した。(別紙のとおり)
- 「園をじかに知る機会を多く持って、自分の目で確かめる方が良い。」と回答した養成校が23校中21校あり、YNナビは、養成校側にとっては、学生にとって有益な事業であることが判明した。このため、次年度も実施する方向で検討する。
- また、コロナが終息しない状況が続けば、オンラインでもいいので学生が直接話を聞ける機会があれば良い。と回答した養成校も23校中21校あった。
- このため、実施方法については、園が会場に一堂に会して実施する従来どおりの方法と、オンラインによる魅力発信の2つの方法で実施することを検討する。
- 今回は特に行政機関との連携を図りたいと思っていたが、コロナ禍ということで思うようにできなかった。今後は広報や高校生への働きかけについては、行政機関と連携をしながら進めることとする。

イ 課題と今後の取組

- YNナビは幼稚園の魅力発信には効果的な事業であることから、開催に向けては、より多くの園の参加を得る必要がある。
- また、より多くの学生に幼稚園の魅力を知ってもらいたい新たな機会を検討する必要がある。
- 養成校等を通じ広報を徹底し、開催を知らないという者を少なくしていく必要がある。
- 参加した者がより多くのブースを回って、自分の得たい情報が得られるよう、支援する必要がある。
- 保育士ナビと同じ会場での合同開催は効果的であると考えている。今後は、広島県と協議し日程等を検討する必要がある。
- 令和3年度の予定

【YNナビ西部会場】

- ・ 日 程：令和3年7月4日(日)
- ・ 会 場：広島県健康福祉センター(保育士ナビに併せて開催する。)

【YNナビ東部会場】

- ・ これまで実施していた会場が閉館となったため、実施の有無を含めて、検討する。

【オンラインYNナビ】

- ・ 実施時期、方法を今後検討する。
- ・ アンケートの結果から、10,11月にも就職説明会をしてほしいとの声があることから、オンラインでのYNナビを複数回、時期を分けて検討する。

(2) 園長による養成校での講演

ア 事業実施による成果及び今後の課題等

- YNナビの会場だけでなく、養成校からの希望に応じ、園長が養成校に出向き、幼稚園の魅力発信に向けた講演を行っているが、コロナ禍の影響を受け、希望校がなかった。
- しかしながら、幼稚園の魅力発信する場として必要であることから、今後も養成校に働きかけるとともに、要請があれば園長等を派遣することとする。

(3) 広島県乳幼児教育支援センター等と連携した養成校との意見交換会の開催

ア 事業実施による成果

(ア) 開催状況

会場	開催日時	開催場所	参加者			
			養成校	行政	就職アドバイザー	幼稚園関係者
広島	R2年10月5日 (月)	広島ガーデンパレス	11校 14人	2機関 3人	1人	18人
福山	R2年10月8日 (木)	福山ニューキャッスルホテル	6校 6人	1機関 1人	1人	12人

※ 養成校 17校（広島県14校、岡山県3校、山口県0校）

- 昨年度に引き続き、広島県、広島県乳幼児教育支援センターと連携した意見交換会を実施した。
- 意見交換会は、年度当初に開催を予定していたが、コロナ禍ということで開催を見送っていた。しかし、学生の実習や採用試験を控え、養成校の先生方の生の声を聞く必要があると判断し、2会場に分散しソーシャルディスタンスを保ちつつ開催した。
- 2会場に分けたことにより、時間的余裕ができ、一つ一つのテーマにしっかりと時間を取ることができた。また、発言も多くあり、有意義な意見交換となった。
- 特に今年度は、コロナ禍で養成校はオンライン授業が中心となり、準備のないまま、教育実習や採用試験となるなど、異例の年であり、このような状況下でも教育実習を受け入れていただいた園に大変感謝されていた。

(イ) 意見交換の主なテーマ（広島・福山会場とも共通）

- ① 実習及び実習巡回の状況について
- ② 意見交換（実習の状況、就職活動について 等）
- ③ 採用試験について
- ④ 幼稚園教諭になった後のキャリアアップについて
- ⑤ 実習の期間について
- ⑥ 実習ノート、実習評価について
- ⑦ 奨学金、教育ローンについて

イ 課題と今後の取組

- 今回は2会場に分散したため、しっかりと意見交換ができたことは良かった。
- 意見交換会の実施の仕方を工夫し、幼稚園の魅力をより一層発信できるよう検討していきたい。
- 養成校との意見交換は幼稚園の魅力を先生方に発信する場としては必要であると考え。意見交換会の実施の仕方を工夫し、幼稚園の魅力をより一層発信できるよう検討していきたい。

(4) 私立幼稚園教諭の魅力発信のためのPR用DVDの作成

ア 事業実施による成果及び今後の課題等

- 当初計画では、YNナビの会場で放映していた「幼稚園の魅力発信」のDVD（連盟職員がパワーポイントを用いて作成したもの）の内容が現状と合わなくなっていたため、現状に合った内容のDVDを作成する予定であったが、YNナビが中止になったことから、専門業者に依頼し、永く使用できるよう工夫した。
- 制作にあたっては、3つの業者から企画提案を受け、「推進協議会（広島県、広島県教育委員会、連盟）」が審査し、決定した。
- DVDは、他県においても使用できるよう、「広島県」の要素を一部に集中させた。
- 養成校が授業でも活用できるよう、6つのチャプターに区分した。
- 全体の長さは、養成校の先生方と協議し、学生が飽きずに視聴できる時間とした。
- 実際、大学の授業での活用も出てきている。

【配布先】

配布先		配布枚数	総数
養成校	27校	3枚	81枚
都道府県団体	46団体	1枚	46枚
全日・地区協会等	4団体	1枚	4枚
出演園等	9園	1枚	9枚
国・県等	4か所	2枚	8枚
実行委員会・連盟会議	36人	1枚	36枚
就職アドバイザー研修用	1人	2枚	2枚
予備	1か所	14枚	14枚
計			200枚

Ⅲ 無料職業紹介事業の実施

1 目的

幼稚園等の人材確保に向けて、平成30年度に引き続き、広島県私立幼稚園連盟無料職業紹介所（わーくけんよう）において、就職アドバイザーを設置し、きめ細かな相談業務等を実施することにより、幼稚園・認定こども園の人材確保に資する。

また、現在運用中である求人・求職システムの機能を強化するとともに、業務の効率化を図る観点からシステム改善をお子に、登録者に対するサービス向上を図る。

2 事業内容

(1) 求人・求職システムを活用したマッチング及びシステムの改善

- 求人・求職システムを活用し、マッチングを行った。
- システムについては、次の改善を行った。
 - ア 管理者ページでの求人票への応募状況を入力する機能を追加した。
 - イ 管理者ページでのマッチングを行うための園情報、登録者情報の検索機能を追加した。
 - ウ 広島県との連携のための3つのバナーを設置した。
 - ① ハタラクほいくひろしま
 - ② 広島県保育士人材バンク
 - ③ とどけにゃ

【わーくけんようのホームページ】




エ 「わーくけんよう」のバナーも広島県のホームページへ設置した。

【広島県のホームページ】


ハタラクほいくひろしま HP




広島県保育士人材バンク



わーくけんようのバナーによりリンクを付けている



とどけにや



広島県私立幼稚園連盟加盟園には各園のHPからのリンクを依頼



オ YNナビが中止になったが、新卒者に幼稚園・認定こども園の情報を届けるため、新たに「新卒者向け求人情報提供サイト」を開設した。



- 「わーくけんよう」サイトに新規卒業
者向けの求人情報を掲載したことから、
その内容を養成校の学生に周知するため、
チラシを作成するとともに、昨年度作成
した「就活ハンドブック」に盛り込み印
刷し、養成校に配布した。



(2) 就職アドバイザーによる就職の支援

再就職を希望する者や幼稚園教諭の免許取得者で新たに就職を希望する者等に対して、就職アドバイザーが求人側（幼稚園）、求職者一人ひとりに合った支援を行った。

① 主たるアドバイザー

NPO法人キャリアプロジェクト広島 所属講師 松永 佳世子氏
(K mind 代表)
資格：2級キャリアコンサルティング技能士（国家資格）
JCDA認定CDA

② 活動日及び活動開始日

切れ目のない支援が必要なことから4月より事業開始
(文部科学省との委託契約締結までは当連盟が経費負担)
相談業務は、概ね月2回 13時～17時、その他 随時

③ 主な実施業務

- ・ 求人・求職システムへの登録者等が満足のいく成果（求職者の希望園への就職、園が求める人材の確保）を得られるための支援を行った。
- ・ 求人活動が円滑に行え、採用につながるような園への支援を行った。
(電話による支援、オンラインによる支援、園を訪問しての支援)



- ・ 養成校において「わーくけんよう」の周知及び利用促進を図った。



- ・ 設置者・園長に対して、採用に関するセミナーを実施した。
- ・ 「わーくけんよう」の広報活動として、チラシを印刷し、園での退職者に退職金支給時に配布するとともに、各種イベント、セミナーで配布した。
また、養成校へ出向いての広報活動を実施した。
- ・ 養成校訪問：1校（広島市内）

3 事業実施による成果

(1) 登録・マッチング状況

- 前年度に、求人登録は、3月末時点で登録期間終了とし、4月には改めて登録してもらう方法に改善したため、今年度も年度当初の求人登録は少なかったが、徐々に件数は増加し、これまでで最高の登録となった。
- 今年度は11月12月にヤフー広告を実施し、求職者登録は順調に増加した。
- YNナビ実施時に、出展園の就労条件一覧を参加者に配布していた。今年度は、YNナビが中止となったため、その内容を、「わーくけんよう」のHPから閲覧できるよう「新卒採用求人情報」提供ページを開設した。
- このページは何時でも園から最新情報に更新することができる。
- 次年度以降、YNナビ実施時には、このサイトから情報を取り出し、印刷することができるよう工夫した。
- 登録状況は次のとおり

ア 登録状況

(単位：件)

月	マッチング	求人登録	求職者登録	紹介
4月	0	5	270	10
5月	0	12	276	2
6月	0	15	287	7
7月	0	19	305	3
8月	1	39	332	1
9月	0	49	352	8
10月	1	53	361	6
11月	1	49	373	7
12月	1	54	387	6
1月	0	56	397	8
計	4	—	—	58

イ 登録者の状況（令和3年1月末日現在）

① 性別

男 性	26人
女 性	371人
合 計	397人

② 年齢区分

10歳代	11人
20歳代	178人
30歳代	93人
40歳代	76人
50歳代以上	39人
合 計	397人

(2) 就職アドバイザーによる支援

- 就職アドバイザーが、月2回常駐する日について、わーくけんようサイト等を活用して周知を図った。
- 平成30年度から2年にわたり実施している、無料職業紹介所「わーくけんよう」に配置した就職アドバイザーの相談業務は、きめ細かな対応により、求人側、求職側に有効に機能している。

年度当初計画していた事業がすべてはできなかったが、意見交換会での就業アドバイザーによる広報や、就職アドバイザーが講師を務める大学での講義等により、「わーくけんよう」の認知を高めるとともに、今年度作成した「幼稚園の魅力発信」のためのDVDを活用した授業を行うなど、積極的な取組により、登録者の増につながった。

ア 相談状況及び状況確認調査（就職アドバイザー、当連盟職員）

- 電話やメールでの相談に対応するとともに、新規の登録者に対して登録した意図を確認し、マッチングに繋げるため、新規登録者には随時電話による状況確認調査を行った。
- 今年度は、電話・メール相談に加え、オンラインによる相談も開始した。相手の顔が見えての相談は、表情が見えることにより、何を質問したいかが就職アドバイザーがいち早くキャッチでき、的確な助言ができるメリットがあった。

(件)

区 分 件 数	求人に関する相談	求職者からの相談	
			内学生数
4 月	5	10	0
5 月	5	2	1
6 月	4	18	2
7 月	2	23	4
8 月	4	27	23
9 月	5	16	9
10 月	9	22	9
11 月	8	13	4
12 月	6	18	8
1 月	17	24	17
累 計	65	173	77

イ 電話相談内容

【求職者からの主な相談内容】

- ・ 免許更新講習を受けていないが、幼稚園で働けるか。
- ・ 免許更新の受講はどのようにしたらいいか教えてほしい。
- ・ 勤務時間について融通が利くか知りたい。
- ・ ブランクがあるため現場に出て通用するか心配である。
- ・ 求人票に対しての個別質問（時給、勤務時間）等

【求人者からの主な相談内容】

- ・ システムの入力方法がわからない。教えてほしい。
- ・ 教諭が辞めるため急いで人を探している。
- ・ 将来的に園長等の園の運営を任せられる人を紹介してほしい。等

ウ 面談による相談内容

【求職者からの主な相談内容】

- ・ 教諭の働きやすい環境でどのように工夫したらいいか。
- ・ 養成校へ出す求人票の書き方について教えてほしい。

- ・ 求人が出た場合、養成校へは出向いてもいいのか知りたい。
(養成校との関わり方)
- ・ 新採用教員を迎えるにあたって、園で気を付けることは何か。
- ・ コロナ禍での学生の就活状況が知りたい。

エ 園訪問による求人側への支援

- 電話では対応しきれない面もあるということと、幼稚園の状況を把握したうえでの助言が重要ではないかとの就職アドバイザーからの提案により、来園を希望する求人者に対しては、訪問による支援を行った。

10月：1園（福山市：1園）

11月：1園（東広島市：1園）

12月：2園（広島市：1園、安芸郡1園）

計 4園（広島市1園、東広島市1園、安芸郡1園、福山市1園）

- 園訪問による助言のメリットとしては、まず、応対者だけでなく、園の雰囲気、先生方の様子などを観察したうえでのアドバイスが行える点である。
- 園を離れて相談に出向くことができない現場の教諭や事務担当者などが複数人で相談できる、また、その場でシステム入力し、すぐに求人登録ができることでシステムの活用頻度の増加につながり、結果的に採用につながった例もある。
- また、就職アドバイザーの助言をその場にいる者が全員聞くことができることも挙げられる。
- 電話の場合は、応対している1人の者に限られてしまうことから、後から伝言しても、細部まで伝わらない可能性がある。
- 就職アドバイザーも助言は、園の対応者の表情等を見ながら、真に求めている内容へとつながるものである。
- サイトの修正に関しても、同じ画面を見ながらの助言は、園側にも的確に伝わる。
- 園での日常の活動が実は園の強みであることや、日頃マイナスに捉えていることをどのように解決するかなど、求人情報に加える際のアドバイスができた。
- 今回訪問した園の求人者で1名の採用があり、園長からお礼の連絡があった。

オ 求人・求職システムの改善

- 平成29年度に構築した求人・求職マッチングシステムについて、これまでより使いやすくなるよう、新たな機能の追加などの改善を図ったところであるが、令和2年度においても更なる改善を加え、登録者の利便性向上を図った。

カ 広報

【紙媒体を活用した広報】

- ① Good Communication・・・

(広島県私立幼稚園加盟園保護者3万世帯) 6月配布

- ② 県幼通信・・・・（広島県私立幼稚園連盟加盟園 202 園） 年 4 回配布
- ③ チラシ配布
 - ・ 広島県私立幼稚園退職者（200 部）

4 課題と今後の取組

- 求人・求職システムは、県内において定着しつつあり、引き続き、改善を加えながら広報し、定着を図っていくこととする。
- 就職アドバイザーの高いスキルによって、求人、求職両者に対して、きめ細やかな支援ができた。
- 求職者に積極的にアプローチし、マッチングを増加させることが大きな課題と考える。
- セミナー等ではきめ細やかな対応、高いスキルが評判となり、徐々に周知が図られてきた。
- 就職アドバイザーからの提案もあり、改善された部分も多くあり、就職アドバイザーの支援は、求職者、求人者にとってもその存在は大きいと考える。

IV 令和2年度新採用教員研修会参加者への人材確保に向けたアンケートの実施

平成29年度に文部科学省の委託事業で実施した「人材確保に向けた調査研究」では、幼稚園教諭及び養成校の学生に対して「人材確保に向けたアンケート調査」を実施し、分析を行った。

その後毎年度、教諭対象の調査（29年度調査）から抜粋した項目を、新採用教員研修会の参加者に対してアンケート調査を行い、比較検討することにより、今後の業務の参考としている。

この研修は毎年3月末に開催しているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

しかし、新規採用者のための研修会は必要であるということから、8月に県内3会場で1日研修という形で開催した。参加した教諭に対して同様のアンケート調査を実施し、その結果をまとめた。（2年度調査）

（詳細は別紙）

（1）調査項目

- ア 就職先を決定する際の判断要素
- イ 今後の幼稚園教諭の継続意向
- ウ YNナビへの参加について

（2）調査結果

ア 就職先を決定する際の判断要素

- 就職する幼稚園等を決める際の判断要素としては、「(34) 園の雰囲気が良いこと」や「(35) 職場の人間関係が良いこと」など、園の人間関係に関する項目で「重要である」（「とても重要である」＋「まあまあ重要である」）が非常に高くなっている。これらの項目は、どの年度においてもほぼ同様の結果となっている。
- 2年度調査では、「(22) 園の教育・保育方針が自分のイメージに近いこと」の割合が高くなっている。また、「(16) 研修棟の機会が充実していること」が前年度調査より6.8ポイント高くなっていることが特徴としてあげられる。

イ 今後の幼稚園教諭の継続意向

- 2年度調査では、「継続して働きたい」と考えている者が36.4%で、前年度調査（34.6%）と比較すると1.8ポイント高くなっている。
- 一方、「結婚したら辞めたい」と回答した者は11.1%で前年度調査（18.9%）より、7.8ポイント低く、「子どもができたなら辞めたい」と回答した者は、15.2%で前年度調査（14.2%）より、1.0ポイント高くなっている。

ウ YNナビへの参加について

- YNナビへの参加については、西部、東部開場いずれかに参加した者は43.4%にとどまっている。

(3) 結果から

- 養成校へ個人にチラシが行き渡るように配布したが、開催を知らなかったと回答した者が半数となっており、学生にしっかりと情報を届ける方策を検討する必要がある。
- 参加者は、就職先、実習先の選定の参考となるなど、成果はあったものとする。これは、これまでの調査と同様の結果である。
- また、アンケートから、希望する園の参加がなかったなどの意見が寄せられていることから、YNナビにより多くの園が参加できるよう働きかける必要がある。

「令和2年度幼稚園の人材確保支援事業」調査研究実行委員会

【委員会の開催状況】

- 令和2年 6月 5日（金）第1回調査・研究実行委員会
主な議題 1 幼稚園の人材確保支援事業推進協議会の設置について
2 調査・研究実行委員会の設置について
3 今年度の実施事業について

- 令和2年 11月 26日（木）第2回調査・研究実行委員会
主な議題 1 事業の進捗状況について
2 来年度事業について

- 令和3年 3月 12日（金）第3回調査・研究実行委員会
主な議題 1 事業の実施報告について
2 来年度の事業実施について

【幼稚園の人材確保支援事業 調査研究実行委員会委員】

菊永 将浩	弁護士法人井上・菊永法律事務所代表弁護士
菊野 秀樹	比治山大学短期大学部教授
樋野本順子	トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校保育社会福祉学科学科長
松永佳世子	K mind 代表 NPO法人キャリアプロジェクト広島専属講師
豊原三紀男	広島県環境県民局学事課長
山本恵美子	広島県健康福祉局安心保育推進課長
田坂 嘉章	広島県教育委員会乳幼児教育支援センター長
住田 直之	(公財) 広島県私立幼稚園連盟理事長 (委員長)
山中 隆司	(公財) 広島県私立幼稚園連盟副理事長
清川 里佳	(公財) 広島県私立幼稚園連盟副理事長
水原 紫乃	(公財) 広島県私立幼稚園連盟副理事長
清信 真	(公財) 広島県私立幼稚園連盟理事
角谷 通齊	(公財) 広島県私立幼稚園連盟理事
山根多美子	(公財) 広島県私立幼稚園連盟事務局長

【幼稚園の人材確保支援事業推進協議会構成員】

豊原三紀男	広島県環境県民局学事課長
田之上幸子	広島県環境県民局学事課主査
田坂 嘉章	広島県教育委員会乳幼児教育支援センター長
住田 直之	(公財) 広島県私立幼稚園連盟理事長 (委員長)
山中 隆司	(公財) 広島県私立幼稚園連盟副理事長
清川 里佳	(公財) 広島県私立幼稚園連盟副理事長
水原 紫乃	(公財) 広島県私立幼稚園連盟副理事長
清信 真	(公財) 広島県私立幼稚園連盟理事
角谷 通齊	(公財) 広島県私立幼稚園連盟理事
山根多美子	(公財) 広島県私立幼稚園連盟事務局長
佐伯奈津子	(公財) 広島県私立幼稚園連盟事務局員
越智 由美	(公財) 広島県私立幼稚園連盟事務局員